

特別企画

様々な団体と連携しているクラブ

特定非営利活動法人ヨロンSC ＜鹿児島県与論町＞

総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのためには、地域社会からの信頼性を確保し、各種機関・団体との相互補助の関係を築くことが必要となってきます。

そこで今回は、他団体と連携し、充実した活動を行っている総合型クラブをご紹介します。

1 クラブ概要

鹿児島県最南端の与論島で活動

当クラブは、鹿児島から南へ約560km、南方海上23km先に沖縄本島を望む鹿児島県最南端の島で、エメラルドグリーンの美しい海とサンゴ礁に囲まれた周囲23kmの与論町全域が活動エリアです。

与論島の地域課題として、町民所得が低くスポーツへの費用負担が難しいこと、少子化によりスポーツ少年団や学校部活動の種目減少が進んでいること、屋外での運動や自然体験機会の減少、それに伴う子どもの体力の低下等が挙げられます。

全教室に追加料金無しで参加可能 年会費は大人6千円

平成17年(2005年)に教育委員会主導の下、設立準備委員会を立ち上げ、平成19年3月16日に設立、平成25年2月にNPO法人として認証されました。

与論町体育協会と当時の体育指導委員(現スポーツ推進委員)を中心に立ち上げ、18種目のスポーツ教室やサークル、イベントの開催からスタートしました。

会費は、大人の場合年会費6,000円で、高校生以下と55歳以上は3,000円、ペア11,000円、ファミリー12,000円(未就学児はファミリーで入会)となっています。会員はクラブ主催の全ての教室(イベントや特別教室を除く)に追加料金無しで参加できるシステムにしており、ビジターも1回500円(高校生以下200円)で参加できます。このように、安価で多くの種目に、気軽にいつでも誰でも参加できる環境づくりに努めています。

指定管理委託を転機に島全体が活動の場に

平成24、25年度に与論町から公共体育施設や中央公民館の指定管理委託を受け、活動拠点と人材の確保ができたことで、新たに幼児・小学生向けの水泳教室や島外からの観光客・修学旅行生を対象としたカヌー教室、サイクリングツアー、親子キャンプを開催する等、活動の場（種目）をプールや海、島全体に広げることができました。現在では、13種目19教室の定期教室を中心に年間競技のリーグ戦3種目、不定期に行う大会やイベントを多数開催しています。

会員数は473名（令和3年3月1日現在）、登録指導者は61名。職員は、指定管理委託事業に携わる16名（パート・委託契約含む）です。公共施設の管理運営を行いながら、子どもから高齢者まで気軽にスポーツや文化活動ができる環境づくりと、生涯を通じた健康・体力の向上による医療費の削減や地域社会のコミュニティづくりに努めています。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の影響により教室や大会・イベントの中止や自粛を余儀なくされたものの、年間延べ1万3千人の皆さんにスポーツや文化活動を楽しんでいただいています。

2 各団体との連携内容

【連携団体1：与論町教育委員会（行政）】

会員募集、イベント周知、財政面でメリット

連携の動機：全町民へ1情報発信（広報）および活動拠点が必要

事業の内容：全町民（全戸）向け文書無料配布および会場使用料の免除支援

●与論町教育委員会（行政）のバックアップもばっちり！

与論町内全戸への文書配布システムにパンフレットやイベント案内を無料で封入できることで、会員募集案内やイベントの周知が容易にできます。また、指定管理を受けている公共体育施設等でのクラブ主催教室が無料（免除）で利用可能なため、財政面でとても助かっています。町としてもクラブ活動への参加による健康維持増進や公共施設の利用促進につながり、相互補助が図られています。

◇文書配布については、配布する担当町民の負担軽減のため紙媒体の減量化に努めています。また、公共施設の利用が独占的・優先的にならないよう公平な予約管理に努めています。

【連携団体2:与論町体育協会およびスポーツ推進委員】

専門的な指導者を安定的に確保

連携の動機:与論島は小さな離島であり、限られた人口・人材の中で指導者の確保が困難

事業の内容:スポーツクラブへの指導者(世話役)の派遣

● 体育協会傘下の各スポーツ連盟との強い絆で指導者(ほぼボランティア)を確保

与論町は、人口約5,200人の小さな離島のため専門的で高度な指導者の確保が困難です。このため、定期的に指導者を招聘(しょうへい)することができません。

教室運営に不可欠な指導者を安定的に、しかも複数人確保する必要性があることから、クラブ設立当初からスポーツ連盟やスポーツ推進委員と連携し指導者数人の派遣を受けています。スポーツ連盟にとっても競技力の向上や連盟会員の確保、後継者の育成につながるため協力的です。指導料は1回500円と少額ですが、指導者もスポーツクラブの会員として入会してもらい、大半の教室は、複数人指導者がいるサークルに近い形で運営することで、指導者本人も競技を楽しみながら参加できるようにしています。また、イベント運営にも協力していただくことで、より専門的で充実したイベントが開催できます。

連携先:サッカー連盟、野球連盟、卓球連盟、バスケットボール連盟、バドミントン連盟、
テニス連盟、水泳連盟、スポーツ推進委員ほか



＜ヨロンSC杯少年サッカー大会＞
サッカー連盟の全面協力で運営しています。

【連携団体3:与論町保健センター(行政)】

イベントの合同開催で集客力が向上し成果も生まれる

連携の動機: イベントの合同開催による集客力および啓発効果の向上が必要

事業の内容: スポーツクラブと保健センターの連携によるイベントの合同開催

●保健センターとの協力タッグで健康づくり

当クラブ主催の「スポーツクラブ感謝祭」は、当初単独でスポーツ体験会やフリーマーケットを開催していましたが、保健センターの健康啓発事業「よろん健康フェスタ」と合同開催することでより効果的な集客と事業成果につながりました。

また、クラブが行う健康ウォークイベントに看護師の派遣協力をさせていただくことで、より安全安心な事業運営につながっています。



＜ヨロンSC感謝祭＞
与論町保健センター「よろん健康フェスタ」と
合同開催して大盛況の様子

【連携団体4:ヨロン島観光協会、商工会、観光事業者】

修学旅行生、観光客向けの体験・イベントで連携

連携の動機: 修学旅行生や観光客のニーズに適した受け入れ態勢・運営協力の構築

事業の内容: スポーツ教室や管理施設を利用したスポーツ交流、イベントの開催とスタッフの派遣

● 地域経済の柱「観光事業」でも連携！

与論島は観光地でもあることから、当クラブでも修学旅行生や観光客向けのスポーツ体験や文化体験の受け入れを積極的に行っており、カヌー教室等のマリンスポーツや島内観光へのガイド派遣をはじめゲートボール交流やウォーキングイベントを開催することで観光振興を図っています。

また、島外旅行会社やスポーツ団体からのスポーツ交流や合宿の要望に対し、島内のスポーツ団体との間に入りイベントのセッティングや運営を行うことで新規観光客・交流人口の獲得にも貢献しています。(サッカー合宿・交流、ゲートボール交流、ウォーキングイベント等)

昨年からはコロナの影響で観光客も激減し、島内経済にも大打撃を与えていますが、2015年から2019年までの観光客数は増加傾向にあります。

また、修学旅行では、教育旅行の観点から学校側のニーズも多様化しており、その様々なニーズへの対応が必要となります。その受け皿となり、イベント等を実施することによって生徒たちの感動や満足感につながり、リピーター(教育旅行の継続来島)という効果が生まれています。



＜カヌーツーリング＞
ヨロン島観光協会との連携で、修学旅行生等の
マリン体験の様子



＜ヨロンパナウル健康ウォーク＞
商工会青年部との連携で毎年開催している
ウォーキングのイベントです。

【連携団体5: 島内小中学校】

小中学校へ指導者を派遣—島内小中学校

連携の経緯: 学校での専門職員の不足等のため、学校側から人材派遣・運営協力の依頼

事業の内容: 学校への専門職員の派遣や運営協力

●子どもたちの健全育成のために

島内小中学校での水泳授業への水泳指導者の派遣や宿泊学習へのキャンプ指導者の派遣を行っています。また、休日の中学校運動部活動の段階的な地域移行への準備を進めています。

3

指定管理事業に頼らず自主財源確保を目指す

当クラブは、利用会員の会費のみでの運営が厳しく、財源確保のため指定管理という手段を選んだ経緯があります。当初は、指定管理事業の責任の重さと業務量の多さもあり、クラブ運営との両立が困難な時期もありましたが、経験と実績を積むにつれ、その価値と有効性に気付かされました。

それは、公共施設を管理運営する中で、全ての事業に大切な人材やクラブ運営に欠かせない活動拠点、成長や向上に必要な人脈、多くの町民と触れ合う機会等が得られると感じています。それらを生かすも殺すも私たちスタッフの行動にかかっています。

指定管理事業に頼り過ぎること無く、それを有効活用しながら、クラブ事業単独での自立に向けた自主財源の確保に取り組めます。

また、島内外の他団体との連携を広げ、「チーム与論島」として様々な地域課題に取り組む体制を構築していくことで、今後のクラブ運営の可能性に夢が膨らんでいます。

4

今後の展望

連携(相互補助)を全国で！

全国の総合型クラブのネットワークを活用して、クラブの相互利用(無料や割引)ができる仕組みをつくりたいと思っています。共通カードやアプリ等により会員登録し、事前に予約をすることで相互に無料または割引価格で利用できることでクラブの価値を高められると思います。与論島のようにトップアスリートや質の高い指導者と触れ合う機会が無い、最先端のスポーツ器具や施設が整っていない等の実情があり、特に子どもたちにそのような機会をつくりたいと願う

クラブも多いのではないのでしょうか。また、都会のクラブ会員には、与論島への旅行ついでにスポーツや文化交流をしたいとの要望があるはずで、そんな方にとっても有益だと考えています。課題は山積していますが、まずはクラブ間の交流から始めてみたいと思います。

地域に貢献する人材バンクの役割を担うクラブへ！

クラブ専属スタッフ1名の雇用と、その自主財源の確保を実現し、与論島の地域課題解決の一助になれるよう、島内外の様々な人材・団体と連携した人材バンクをつくりたいと思います。

幼児プログラムから介護予防まで事業展開を！

現在は、幼児水泳教室や小学生の野球とサッカーに始まり、年齢制限のないバドミントンやピンポン、フットサル等のスポーツ教室や音楽教室に限られています。今後は、地域で一層連携しながら、子育て支援や幼児プログラム、高齢者のスポーツ教室や介護予防プログラム、障がい者に優しい運動教室等の活動プログラムを地域に提供できるよう事業展開したいと考えています。

そのためには、様々な社会的インフラの整備や経済的バックアップも必要ですし、人材の確保と人材育成、スキルの蓄積と共有等、課題を一つずつ解決していこうと思います。

(特定非営利活動法人ヨロンSC クラブマネジャー 柳田 孝志)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成19年3月16日

所在地 鹿児島県大島郡与論町

運 営 会員数473名(令和3年3月現在)、予算規模7,470万円(令和2年度)

特 徴

- ・与論島という美しい海や自然に恵まれた環境の中で活動ができる
- ・安価で多種多様な教室やイベントに気軽に参加できる
- ・小さな島ですが活動拠点が充実していて移動が楽で参加しやすい
- ・地域の人のつながりが強く、地域全体で支え・見守る環境である
- ・地域や他団体との連携が取れており、様々な事業や地域課題に柔軟に対応できる

連絡先 〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花2045

TEL/FAX 0997-97-5023

URL <https://yoronsc.com>

E-Mail yoronsc@salsa.ocn.ne.jp